

# 図画工作科教育にかかる現状と課題

部長 野川 彰 夫

## 1 図画工作科の動向

### 【上越地区】

本年度、2本立てで研修を実施した。ひとつは、地区全体で、小・中学校の教師を対象にした実技研修である。新学習指導要領に基づく指導に生かすために、学校現場の指導に当たる先生方の要望を聞き、ニーズに応えた研修を実施した。

もうひとつは、上越市、柏崎市・刈羽郡、糸魚川市、妙高市の地区毎に、講演会や実技講習会等、各校の校内研修とタイアップした研修会を実施した。

### 【中越地区】

平成23年8月4日・5日に開催される第51回関ブロ造形教育研究大会新潟大会の中越地区での開催を目指し、「つくる喜び みる楽しみ かかわる・つながる造形教育～『よさ』が広がる造形教育を求めて」を大会テーマとして、大会の組織・運営・研究・授業実践を進めている。

平成22年8月4日、旧荷頃小学校体育館を会場に中越美術教育研究大会夏季研修会を関ブロプレ大会として実施し、本番同様の廃校プロジェクトのワークショップを行った。学校・校舎への思いを造形表現する活動と泥んこ笛づくりのワークショップを実施した。地域との連携をはじめ、かかわる・つながる造形教育等、造形教育のあり方についての新たな提案や論議を積み重ねている。

### 【新潟市・下越地区】

主なものは、全地区を対象にした夏季実技研修会と新潟教育アート展である。夏季実技研修会では、3コースに分かれて充実した内容で行われた。アート展は、新津美術館を会場に18日間の会期で実施し、大勢の参観者のもと、成功裏のうちに終了した。

## 2 図画工作科の課題

- 4月から新学習指導要領が本格実施となる。新たに示された「共通事項」や変更点の確認や具体化、指導内容や評価基準の確認を最終的に行い、取組の充実を図ることが課題となる。
- 今、造形教育では、保護者や多くの方々に造形教育で「人が育つこと」を実感してもらうことが求められている。そこで、まず、校内の教師が図工・美術教育の大切さを十分認識できる研修をもつことも重要である。
- 現場の授業には、依然として表し方を中心とした学習指導が行われ、身近な生活と遊離した学習指導の傾向が見られる。感性を働かせ、作り出す喜びが実感できる学習指導を進めていく必要がある。

